

平成28年第1回市議会定例会における主な課題対応

総務部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
(吉岡(文)議員：一般質問) 以前、市役所など公共施設に市民が利用できるパソコンが配置となっていたが、その後、撤去された。近年、情報化が加速しているなかにあつて、市民が身近なものとしてパソコンが利用できるよう、せめて市役所に市民向けのパソコンを配置してはどうか。	インターネットの普及啓発を目的に、H12 に総務省の補助事業を活用し、市民が利用可能なパソコンを市役所や保健センター、図書館などに設置したが、利用者の一部で、コンピュータゲームなど、インターネットでの情報検索以外に利用される事案のほか、特定の方が長時間占有していたことなどにより、全ての閲覧用パソコンを撤去した経緯があり、市民が利用可能なパソコンの配置に関して、導入経費やランニングコストのほか、パソコンの管理やセキュリティなど、検討すべき項目も多いことから、市政情報の発信方法も含め、検討を行っていく。	他市の実施状況や施設管理者の考え方など、調査を行ったうえで、平成29年度予算編成作業時までに、導入を判断する。
(本郷議員：一般質問) 行政の透明化、信頼性の向上、市民参加、官民協働の推進、経済の活性化、行政の効率化を図る上で、「自治体のオープンデータの取組」は、大変重要であると認識しているが、市長のお考えを伺う。	市の保有する情報のオープンデータ化について、必要な情報の収集に努め、他市の取組事例も参考にしながら、財政状況をしっかり見極めながら引き続き、検討を行っていく。	他市の実施状況の確認や、オープンデータ化への作業経費(作業量)を見積ったうえで、平成29年度予算編成作業時までに、導入を判断する。
(松山議員：予算審査特別委員会) 移住・定住促進事業で、札幌からの通学・通勤圏内であるため、通学・通勤に対する助成を行うべきではないか？	平成27年度において、市移住定住推進協議会の皆さんと人口増加対策として、これまでの助成制度のほか、通勤・通学者に対する交通費の助成の検討を行ってきたところであり、事業効果の検討を行ううえで、引き続き、協議会の皆さんと検討を行っていく。	協議会の皆さんと協議を継続し、平成29年度予算編成時までに制度の創設を判断する。

平成 28 年第 1 回市議会定会における主な課題対応

総務部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
(川上議員：予算審査特別委員会) 行財政改革の一環として、市役所事務のアウトソーシングについて、広報の事務に留まらず、全庁的な視点で取り組んで行く予定があるのか伺う。 職員が使用する業務用パソコンで、今後、インターネット環境を切り離し、別にインターネット環境を有したパソコンを設置すると聞いているが、どの程度設置するのか？業務に支障はないのか？	美唄市行政改革推進本部専門部会で、調査・研究を行っているところであり、他の行革項目と併せ、検討を行う。 職員の業務用パソコンにおけるインターネット環境の切り離しの際の、専用パソコンの設置については、課に 1 台を考えており業務に支障がないかどうか見据えて行く。	人件費等との関わりもあることから、平成 29 年度予算編成時までに判断する。 既に実施している他市の状況を確認のうえ、業務に支障があるかどうか、平成 29 年度予算編成時までに判断する。
(桜井議員：予算審査特別委員会) 市内アパートに居住を希望する方に対して、家賃等の助成を行うべきではないか？	H27 において、市移住定住推進協議会の皆さんと人口増加対策として、これまでの助成制度のほか、市内アパートに居住を希望する方に対する助成に関し、検討を行ってきたところであり、事業効果の検討を行うため、引き続き、協議会の皆さんと検討を深めていきたいと考えている。	協議会の皆さんと協議を継続し、平成 29 年度予算編成時までに判断する。

平成28年第2回市議会臨時会における主な課題対応

総務部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
[山崎議員] ①ダム公宅の場所は分かりにくいので立て看板が必要ではないか？ ②施設の貸出に関して、様々な目的での貸出を考えていないのか？ ③備品は不足しないのか？	①必要であると考えているので、設置に向けて検討する。 ②庁内で検討する。 ③実施の段階で決定する。 いずれにしても民業圧迫とならないよう、配慮する。	①4月下旬調査のうえ 改修工事予算の中で検討する。 ②4月～6月に庁内で検討する。 ③積算時期(6月末)に決定。
[吉岡(文)議員] ①交流拠点の名称は？ ②改修では、高齢者に配慮すべきと考えるが？ ③企画課で管理するのか？ ④備品購入でIHI製品は、購入しない方が良く考えるが？ ⑤先進地の視察は行ったのか？	①施設名称は、今後検討する。 ②実施の段階で検討する。 ③新年度の体制で決定する。 ④実施の段階で検討する。 ⑤早々に調査を行う。	①6月末までに庁内で決定する。 ②4月下旬調査のうえ 改修設計の中で検討する。 ③4月下旬までに決定する。 ④積算時期(6月)に決定する。 ⑤4月～5月に調査する。
※工事スケジュール 4月…現地、先進地調査(深川など) 4月～5月…庁内検討 6月…積算 7月…工事発注 10月…工事竣工 11月…供用開始		

平成 28 年第 1 回市議会定例会における主な課題と対応

市 民 部

NO1

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
一般質問 (吉岡議員) ○雑紙の拠点回収について	・ 拠点回収を実施するにあたり、様々な課題もあることから、今後、他市の回収例の調査や、廃棄物減量等推進審議会で、回収の方法や回収対象とする種類などについて検討していく。 (生活環境課)	・ 4 月以降、推進審議会で、ごみ処理手数料の改定についての審議を予定しており、その中で、雑紙の回収についても、具体的な協議を行っていく。(回収時の分別確認・回収可能業者の確認・拠点設置等)
予算特別委員会 (松山委員) ○合葬墓について 家族構成や社会情勢の変化により、お墓を個人で管理することが、困難になってくるケースが増えてくると考えられる。今後、仏教団体等と連携して対応していくことも大事だと思うが、どのようなビジョンを持っているのか？	・ 少子高齢化などにより、今後、墓の見守りが困難になってくるケースも考えられる。他市の状況は調査済みであるが、仏教団体等と意見交換をしながら、検討していく。 (生活環境課)	・ 今後、先進地の視察を行い、他市の調査結果をもとに、仏教団体等との意見交換を行う。 また、想定される行政負担額及び利用者の負担額・利用条件等を整理する。
(谷村委員) ○生ごみ堆肥について 今後、堆肥を販売するにあたり、循環型社会を目指し、広く市民に還元しながら、農産物に付加価値をつけることについての考えは？また、コスト削減も大事だが、製品堆肥を安心して使えるように。	・ 堆肥の成分に狂いがないように、市の農政課・農協・アスパラ、ハスカップ部会と連携の上、もみ殻の投入量や製造量・堆肥の成分について調査・研究をしていく。 (生活環境課)	・ 農産物の付加価値化については、アスパラ部会長に、堆肥を無償配布のうえ、今春より、市の堆肥を使用したものとそうでないものと比較検討をする旨の話を頂いており、今後においても、有料販売した農家に堆肥の品質や効果等の意見を伺いながら、関係団体とも具体的な協議を行っていく。

平成 28 年第 1 回市議会定例会における主な課題と対応

市 民 部

NO2

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
(吉岡・土井委員) ○ 最終処分場埋立終了後の次期処分場の考え方について。	・ 新たな処分場の建設は財政負担が大きいため、現処分場の嵩上げや民間の産廃施設への搬入について検討していく。	・ 嵩上げ、民間委託それぞれの 15 年間のコスト比較はできており、嵩上げの場合は基本設計や工事期間など、概ね 3 年の期間を要するため、現処分場の埋め立て終了時期が平成 32 年 5 月末までと想定しており、今後、庁内議論も踏まえた上で、最終決定していく。

平成28年第1回市議会定会における主な課題対応

保健福祉部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
(一般質問) 【地域福祉課】 1) 地域福祉の視点に立った地域包括ケアシステムを構築し、高齢者や障がい者等、地域全体の福祉向上に努めることとしては。(本郷) 2) 市が策定している地域福祉計画と社会福祉協議会が策定している地域福祉実践計画を一本化してはどうか。(本郷) 3) 障がい者差別解消法の取り組みとして(山崎) 4) 手話条例の制定について(山崎) 【こども未来課】 1) スマホ等による子育て応援アプリの推進について(本郷) 2) 3歳以上児の主食の提供について(吉岡文) 3) 病児、病後児保育の実施について(吉岡文) 【健康推進課】 1) 健康ポイントカードを活用した健康づくりの推進について(川上)	国の動向を注視しながら、総合的地域包括支援体制の確立に向けて調査研究を行う。 両委員会などとも協議し、必要に応じて検討する。 本法の啓宣啓発に努めるとともに、関係団体の意見を伺いながら、障がい者差別解消支援協議会を設置する。 他市の状況を確認し、関係団体の意見を伺いながら、調査研究を行う。 先進地事例等も参考にし、有効性について調査研究を行う。 給食費の問題もあり、保護者ニーズや近隣保育所の状況を調査し、検討する。 平成28年度中の実施に向けて、取り組むこととする。 先進事例について、調査研究を行う。	国が、具体的に実施に向けた方針を示した後に、対応する。 6月頃を目途に、社会福祉協議会と協議を行い対応する。 12月を目途に設置する。 継続的に、調査研究を行う。 9月頃までに方針を決定。 保護者会と協議を行ったうえで、その後保護者アンケートを実施し、取り進める。 8月頃までに方針を決定し、補正予算対応で取り進める。 9月頃までに方針を決定。

平成28年第1回市議会定例会における主な課題対応

経済部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
質問者：松山議員 件名： 産業振興について 中項目：空知団地ホワイトデータセンター構想、食料備蓄拠点構想について ホワイトデータセンター構想と食料備蓄拠点構想の進捗状況と今後の展開について また、両構想と利雪の取り組みとの関わりについて	この夏には、サーバー廃熱を利用する植物工場と陸上養殖施設も本格稼働の予定となっており、市としてはこれを機会に、国内はもとより海外に向けても広く PR するなど、構想実現に向けた取り組みを加速させてまいりたいと考えている。 2つの構想の実現には「雪冷熱利用」が重要な要素となる。現在、国の交付金を活用した「利雪の聖地びばいプロジェクト事業」を進めているところであり、先月は、「ホワイトキャンプ美唄」と名付けた2泊3日の雪中キャンプを東明公園で実施し、今後、美唄の冬を社員研修の場として活用してもらえるよう検討していただいているところ。市民会館への雪冷房導入も進めていることや、3月25日には利雪と農商工連携のセミナーを開催し、昨年から進められているスノーフードの取り組みなどを紹介する予定となっており、こうした様々な機会を通じて、本市の利雪の取り組みを広く周知し、両構想の実現とともに、広く産業の振興につなげてまいりたいと考えている。	・データセンター現地視察会 (3/23 BHC、空知団地) ・データセンターダイナミクス社への記事投稿 (4月以降) ・WDCweb サイト構築・情報発信 (4月以降) ・データセンター展示会出展 (5/11～13 東京ビッグサイト) ・雪を活用した食のまちづくりセミナー開催 (3/25 スエヒロ) ・広報メロディーでセミナーの内容を周知

経済部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
質問者：金子議員 件名： 市政執行方針について 中項目：人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくりについて 農商工連携における現状の評価と新たな進展、及び経済効果について 既存商品の現状、進展の見込み	本事業は、地域経済の活性化や、これからのまちづくりにおいて大きな推進力として期待できることから、広く情報発信を行い販路拡大に向けた取り組みや、助成制度の拡充を図るなど、より一層事業の推進に努めてまいりたいと考えている。	・農商工連携推進助成事業の拡充（補助率 1/2→2/3） ・雪を活用した食のまちづくりセミナー開催（3/25 スエヒロ）
質問者：吉岡委員 予算審査特別委員会 スノーフードの取組など市民へ浸透していない。食品の雪利用については、昔からの市民レベルのノウハウがある。そういったものも研究会に知らせるべきでは。	3月25日にセミナーがあり、スノーフードの取組などをお知らせする機会がある。 広く一般市民にも周知するため、その結果を広報紙でお知らせす。	・雪を活用した食のまちづくりセミナー開催（3/25 スエヒロ） ・広報メロディーでセミナーの内容を周知（5月号か6月号で）

経済部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
吉岡建二郎議員：一般質問 森川議員：一般質問 ・ＴＰＰの市の対応について	国際貿易の枠組みに関わる内容であり、国の責任において事業の推進や法の整備を進めるべきだが、市も国の平成 27 年度補正予算や平成 28 年度当初予算における事業の活用を積極的に進める。国が秋に向けて具体的な対策を詰めていく予定であり、本市の農業振興や地域の産業振興や市民生活の安定が図られるよう関係団体と必要な対応を行っていく考え。なお、米の影響額については、今後、国の発表に基づいて対応を図る。	国補正予算のＴＰＰ関連対策予算の活用を図るほか、秋に向けての国の対策内容把握に努める。米影響額は、今後の道の試算動向を把握する。
金子議員：一般質問 ・先進農業への支援について	引き続き各研究会と連携を図りながら情報を共有化し、導入に向けた国の交付金の活用など必要な支援を行っていききたい。	国事業の活用の見込みや研究会の動向を把握し対応する。
金子議員：一般質問 ・アスパラガスの支援について	新年度において振興作物であるアスパラガスの苗購入費について支援を行う予定。	決定した予算に基づき農協と連携して実施していく。
森川議員：一般質問 ・新規就農者について	地域農業を支える多様な担い手の確保が必要であり、地域農業再生協議会や農業改良普及センターと連携し、後継者の育成・確保を促進する。新規就農希望者確保につながるよう、農業士・指導農業士と連携した仕組みづくりを進めていく。	農業士・指導農業士、さらにはこうした方々の取組みを通じて農協との連携も進めており、今後更に具体的に取り組んでいく。

平成28年第1回市議会定例会における主な課題と対応

都市整備部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
コンパクトシティについて (一般質問：山崎議員)	将来の人口規模に見合ったコンパクトな市街地の形成に向けて、郊外部を含めたまち全体の目指すべき骨格構造が重要なことから、コンパクトシティ構想の策定に取り組む。	庁内に検討組織をつくり、市の各種計画との関係を整理し、平成29年度中に作成。
LED化の早期実現に向けた今後の対応について (一般質問：吉岡健二郎議員)	LEDの設置に向けた意向調査を行なう際には、電気代の縮減効果をPRし積極的に設置して頂けるよう取り組む。	同左
市営住宅「いなほ団地」の民間への売り払いについて (一般質問：桜井議員)	耐用年数を経過した団地については、用途廃止後に除却することを基本としているが、民間への売り払いについては検討する。	他市の状況を調査し検討。

平成 28 年第 1 回市議会定例会における主な課題と対応

教育委員会

質問要旨		答弁要旨	具体的対応・スケジュール
1	教科書謝礼問題の今後の対応はどうするのか。 (一般質問：森川議員)	道教委による事実確認の結果に応じて、適正に対応する。	3/20 (日) 道教委から事実確認の結果発表。 3 月中 処分内容発表
2	アルテピアッツァ美唄の入館料は取らないのか。 (一般質問：山崎議員)	収入確保の観点から、引き続き検討したい。	具体的な方法等について、継続して検討していく。
3	サン・スポーツランド美唄に保管している貸自転車を駅前で活用できないか。 (一般質問：山崎議員)	道路網を活用した新たなサイクリングコースを確定した後、市長部局や関係機関とも協議し、早急に検討したい。	5 月 サイクリングコースの試走。 6 月 同 確定。 7 月 貸自転車についての協議、検討。 〔管理主体、保管場所、管理方法等〕
4	市民会館・公民館の指定管理業務は、3 年続いて赤字決算となっており、資料作成の不備を含め、教育委員会としてチェックや指導が不十分ではないか。 累積赤字の解消はどうするのか。 大ホールの利用中止により、指定管理業務はどのように対応するのか。 (常任委員会、予算審査特別委員会：土井委員)	指定管理業務は、単年度での黒字を確保が前提。そのため、H28 年度は、人件費を含め指定管理費の見直しを行った。また、今後、4 半期ごとに経営状況の確認をするなど、教育委員会と指定管理者との連携や協議により、適正な管理運営を図る。 累積赤字の解消に向けては、市として検討していく。 大ホールについては、3 月中に被害状況を確認し、市民の皆さんに極力、ご迷惑をかけないように、再開に向け、必要な対応に努めたい。	3 月 大ホールの被害状況確認、安全点検、普及作業。 4 月 指定管理業務の範囲を定め発注。(協定書に特記事項を設定予定) 大ホールの改修が必要となる箇所については、手法等を協議、検討。